

議案第22号

令和2年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について

上記の議案を提出する

令和元年8月21日

鳥栖市教育委員会

教育長 天野 昌明

(提案理由)

令和2年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について、三神地区教科用図書共同採択地区協議会において選定された図書の承認をいただく必要があるため、鳥栖市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則第2条第1項第16号の規定によりこの案を提出する。

## 令和2年度以降に使用する教科用図書の採択について

### ◇ 根拠法：義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律 第13条

- ・ 都道府県内の義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択は、第10条の規定によって当該都道府県の教育委員会が行なう指導、助言又は援助により、種目ごとに1種の教科用図書について行なうものとする。
- ・ 第1項の場合において、採択地区が2以上の市町村の区域を併せた地域であるときは、当該採択地区内の市町村立の小学校及び中学校において使用する教科用図書について協議会（次項及び第17条において「採択地区協議会」という。）を設けなければならない。
- ・ 前項の場合において、当該採択地区内の市町村の教育委員会は、採択地区協議会における協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。
- ・ 前各項の採択は、教科書の発行に関する臨時措置法第6条第1項の規定により文部科学大臣から送付される目録に搭載された教科用図書のうちから行わなければならない。ただし、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書については、この限りではない。

### ◇ 三神地区教科用図書共同採択地区協議会（2市4町）

- ・ 鳥栖市、神崎市、基山町、みやき町、上峰町、吉野ヶ里町
- ・ 協議会は、次に掲げる事務を行なう。
  - ①地区内の小学校及び中学校において使用する教科用図書の採択に関し、協議して種目ごとに1種を選定する。
  - ②教科用図書選定委員会に教科用図書の採択に関し諮問すること。
  - ③選定委員会委員及び教科用図書研究部会研究員を委嘱すること。
  - ④その他、教科用図書の採択に関する重要事項で協議会において必要と認めるもの。

### ◇ 採択に至る経緯

- |            |                                  |                            |
|------------|----------------------------------|----------------------------|
| 令和元年6月 4日  | 第1回三神地区教科用図書共同採択地区協議会            | ・ 採択に関する概要の説明              |
| 6月24日      | 第1回三神地区教科用図書共同採択地区協議会選定委員会       | ・ 選定委員の委嘱、採択に関する概要の説明      |
| 6月27日      | 第1回三神地区教科用図書共同採択地区協議会研究部会        | ・ 研究部長及び研究員の委嘱、採択に関する概要の説明 |
| 7月 9日      | 第2回三神地区教科用図書共同採択地区協議会研究部会(小学校のみ) | ・ 教科用図書の研究                 |
| 7月22日      | 第3回三神地区教科用図書共同採択地区協議会研究部会(小学校のみ) | ・ 教科用図書の研究及びまとめ            |
| 7月31日、8月1日 | 第2回三神地区教科用図書共同採択地区協議会選定委員会       | ・ 答申まとめ（2種選定）              |
| 8月8、9日     | 第2回三神地区教科用図書共同採択地区協議会            | ・ 1種選定                     |

### ◇ 採択報告書（案） 別紙のとおり

### ◇ 今後の予定 令和元年9月 市報10月号にて公表

令和2年度使用中学校教科用図書採択案及び採択理由

種目	発行社名	採 択 理 由
国 語	三省堂	「資料編」には、発展的な内容の読書教材や、「学ぶ力を高めよう」として、さまざまな実践的な学習方法が紹介されている。国語以外の教科や実生活の中の思考や表現に活用できる。
書 写	東京書籍	「生活に広げよう」では学校生活や家庭生活に役立つ内容を取り上げつつ文字の特徴を生かして、書く力の習得に役立てようとしている。生活の場面に応じて、楷書と行書の使い分けを考える活動があり、より実生活で生かせるようになっている。
地理的分野	帝国書院	各中単元の終わりの「学習をふりかえろう」の中で、「説明しよう」や「探究しよう」のコーナーを設けており、学習した内容を活用しながら言語活動を行うことができるように工夫されている。
歴史的分野	東京書籍	単元のはじめに、イラストや資料を用いて、これからどのような学習が行われるのかを表した簡単な指標が示されている。各時代の終わりには「この時代の特色を捉えよう」や「歴史学習のまとめをしよう」を設け、多様な言語活動によって時代の特色を捉えられるように工夫している。
公民的分野	東京書籍	各単元の最後にまとめの言語活動を設けることで表現力等の育成を図っている。また対立と合意等について、これらを活用して考える話し合い活動を各章に設けている。
地 図	帝国書院	学習上、重点を置いている北アメリカ、ヨーロッパ、中国には、見開きの大鳥瞰図が掲載されており、特色を立体的かつ、視覚的にとらえることができる。
数 学	新興出版社 啓林館	「ひろげよう」や「身のまわりにひろげよう」で、「数学を活用する力」を重視し、「数学の有用性」を実感できるよう工夫されている。また、実生活への使用場面を想定させている。
理 科	大日本図書	各単元の終章「学んだことを活かそう」において、知識の整理を行い、単元内容を活用する課題で探求活動を設定している。また、「結果をまとめ説明する」場面を設定することで、言語活用を促している。
音 楽	教育出版	歌唱の共通教材と指揮の学習を結び付ける内容になっており、日本の歌曲を身近に感じ、主体的に活動できるよう工夫されている。また、日本各地の芸能や伝統音楽について調べる活動があり、生徒は興味・関心をもちやすい。
器 楽	教育出版	それぞれの楽器の奏法や構造が、詳しく写真やイラストで説明されており、生徒は理解しやすい。和太鼓の奏法が詳細に説明されており、写真も分かりやすく見やすい。リコーダーの演奏の写真も載っており、器楽の活動の参考にしやすい。
美 術	開隆堂出版	一つの題材の導入から、関連した題材・技法・鑑賞へと発展するように題材配列の構成に工夫がある。また、日本美術に関するページが多く、日本の伝統文化について考えさせることができる。
保健体育	学研教育 みらい	各章のはじめにこの章で学習することを記載し、その章で学ぶことを大きくつかむことができるようにしている。各項目の冒頭に、ウォームアップを設け、学習の動機づけや今までの経験や今ある知識を生かして取り組める課題提示をしている。
技術分野	東京書籍	ガイダンスでは、技術分野の学習への興味を高め、3年間の学習の見通しが持てるように編集されている。編末の「学習のまとめ」には、大切な用語とページ数が記載されており、自己評価、振り返り学習ができるようになっている。
家庭分野	開隆堂出版	学習内容に興味をもって取り組めるように写真やイラストを掲載している。調査活動がしやすいものにはイラストを、調査活動がしにくいものには写真を用いて説明されており、わかりやすく授業を展開することができる。
英 語	開隆堂出版	重要文型の導入がすべて対話形式で行われるなど、随所にコミュニケーションを意識した構成がされている。また、「協働学習」の視点を取り入れ、生徒相互の言語活動の中で表現力を高めようとする意図が見て取れる。